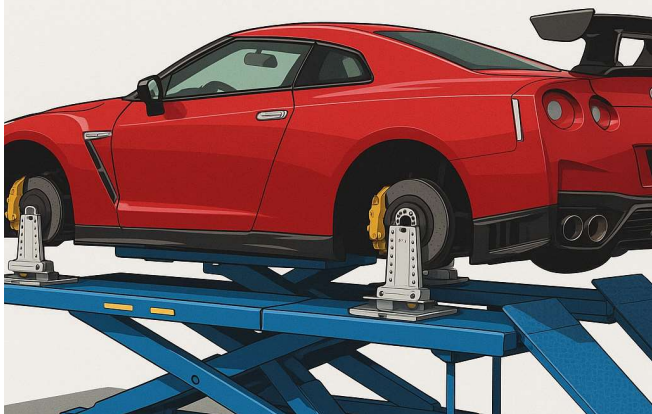


■3Dアライメントテスターとの比較

3Dアライメントテスターの課題(ユーザーの声)	測定イメージ
▶メリット ・ドライブオンで簡単に測定できる ・測定結果を印刷できる ・モニターにライブ表示される ▶デメリット ・導入価格が高い ・リフト設備が必要 ・タイヤを外さないと調整出来ないことがある ・測定精度が思ったほどよくない ・故障やエラーが多い ・保守料が必要(定期キャリブレーション・データ費) ・パソコンOSの更新で使えなくなる(経験談) ・定期的な設備更新が必要 ・設備費を考えると収益性が悪い	

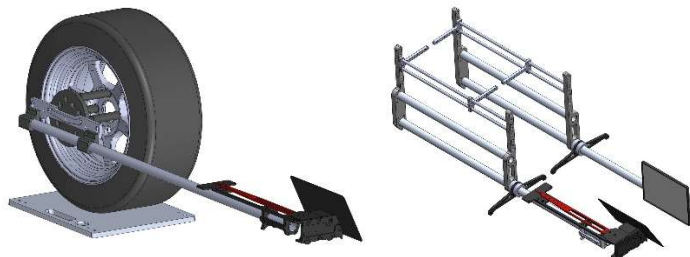
■レースゲージプレミアムアライメントテスターの導入ユーザーの声

導入後のユーザーの声	測定イメージ
▶メリット ・精度が高い(走行後に測定しても数値がブレない) ・持ち運べる(設置場所を選ばない) ・作業性が良い(タイヤがないから調整がしやすい) ・目で見て直感的に分かるので慣れると楽 ・保守料がかからない ・キャリブレーションがいつでも自分できる ・3D式と比べると遥かに安い ・壊さない限り、長く使えると思う ・測定している姿が格好良い ▶デメリット ・タイヤを外す作業が必要 ・慣れるまで使い方が分かりにくい ・測定結果を出力するデバイスがない ・車毎のデータを個別に調べる必要がある ・PCDやボルト穴の汎用性が乏しい ・一般顧客の認知度がまだ低い ・もう少し安かったら	 

▶ユーザーからのデメリットレビューについて

・タイヤを取り外す作業が必要

回答:プレミアムアライメントテスターの専用オプションとしてプロアライメントやスタンダードーをご用意しております。絶対値をプレミアムアライメントテスターで測定し、微調整をプロアライメント・スタンダードーで行う、複数の測定器を併用して頂くことが可能です。



・慣れるまで使い方が分かりにくい

回答:現在、使い方の動画を準備中です。Youtube にて随時公開予定ですので今しばらくお待ち願います。

・測定結果を出力するデバイスがない

回答:数値を入力する用紙を予定しております。完成しましたら導入ユーザー様へ配信致します。

・車毎のデータを個別に調べる必要がある

回答:車高の変更などメーカー基準値が当てはまらないケースも多くあります。そのため不要な保守コストを減らすため、メーカー基準値はお手数ですが、ファイネスやメーカー（ディーラー）様にて取得をお願いします。今後取得したデータを共有できるサービスを検討しております。

・PCDやボルト穴の汎用性が乏しい

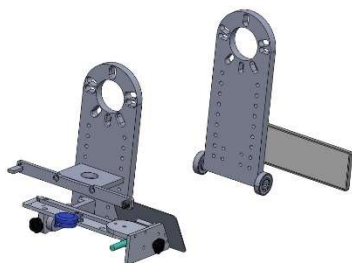
回答:現在はマルチPCDタイプのアライメントホイールをラインナップしております。ご相談頂ければ幸いです。

・一般顧客の認知度がまだ低い

回答:認知度が向上するよう活動して参ります。

・もう少し安かったら

回答:RaceGauge Edge を新たにラインナップ致しました。機能、構成を縮小したプレミアムアライメントテスターの良いところ取りをし、モータースポーツのプロから小規模ガレージ様向けにリーズナブルな価格帯になっております。



RaceGauge では革新的なアライメントテスターとして様々な活動を準備しております。

プライベーター様からの要望に応えた、『BlueGauge ブルーゲージ』をご用意しております。